

Julabo Case Study

JULABO PRESTO® A80

20L反応器を
+160°Cから+100°Cに冷却



目的

本ケーススタディは、ユラボPRESTO A80の冷却能力を20Lのガラス反応器でテストしました。A80は2mのメタルチューブで接続、+160°Cから+100°Cに冷却するようにプログラムされています。

環境

室温	+20°C
湿度	45%
電源	230V/50Hz

テスト条件

ユラボ装置	PRESTO A80
冷却能力	+20°C 1.2kW 0°C 1.2kW -20°C 1.1kW
加熱能力	1.8kW
バンドリミット	無
吐出圧	0.40bar
循環液	ユラボ サーマルHL80
反応器	20Lガラス反応器 (Asahi) 18LのサーマルHL40を充填
ジャケット容量	7L
温度制御	外部温度制御 (ICC)



テスト結果

次ページグラフ参照 : A80の冷却プロセスは+160°Cから+100°Cまで1時間15分でオーバーシュートすることなく到達しました。

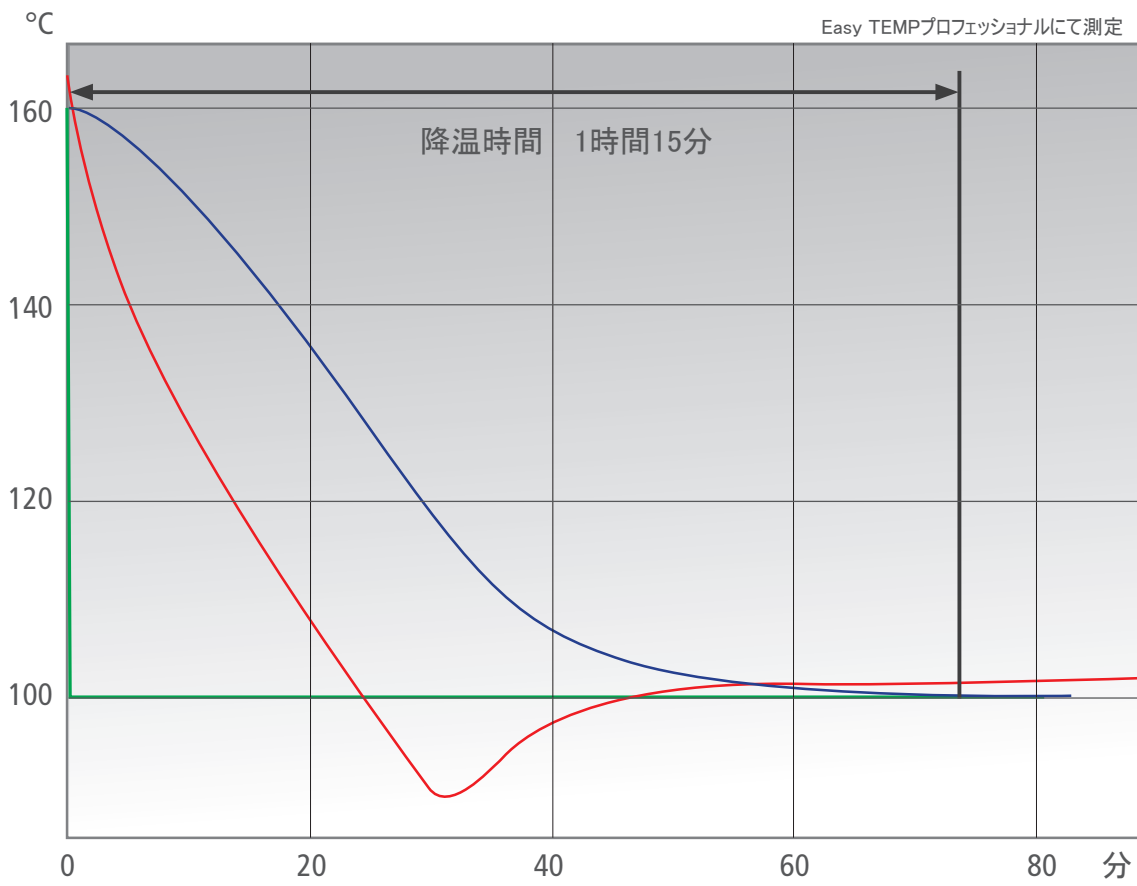
情報

PTFEコーティングされたPt100温度センサーが使用可能です。

次のページにも情報が載っています。



JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0



- 設定温度
- 反応器内温度
- ジャケット温度

情報
 ポンプ圧力を調整する為のオプション画面があります。お客様にてポンプ圧力を設定する事が可能です。

情報
 TPRESTOの全ての機能をイーサーネットインターフェースにて操作する事が可能です。

JULABO GmbH
 Eisenbahnstraße 45
 77960 Seelbach / Germany
 Tel. +49 (0) 7823 51-0